

(第3回)土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

●第3回 土器川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- ・実施日：平成29年6月1日(木)10:30~12:00
- ・場所：丸亀市消防本部6階(大会議室)
- ・出席者：丸亀市長、坂出市長※、善通寺市長※、宇多津町長、琴平町長、多度津町長、まんのう町長、
香川県危機管理総局 危機管理課長※、香川県 中讃土木事務所長※
(※は、代理により出席)
香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 危機管理先端教育
研究センター長
高松地方気象台長、香川河川国道事務所長
- ・事務局：香川河川国道事務所

●開催状況



●協議会内容

- ・土器川の減災に係る取組方針におけるフォローアップとして取組状況の情報共有を実施

●取組状況の主な内容等

各市町等の取組状況として、以下の報告があった。

- ・本年度は、内水センサー・カメラの設置検討、タクシー会社等と情報提供にかかる協定締結を取り組む予定である。
- ・防災無線以外にSNS、ホームページ、FMラジオ等からの情報発信を行っている。市民の防災意識向上として広報誌やFMラジオ出演による呼びかけ、防災に関する講演や訓練を行っている。
- ・想定最大規模降雨による土器川浸水想定区域におけるハザードマップの作成を進める。住民目線の正確な情報の発信を行っていく。
- ・暗くなる前の避難誘導の体制づくりに取り組んでおり、早期の正確な情報の伝達が重要と考え、伝達手段の検討等を行っている。
- ・今後、ハザードマップを配布する予定であるが多言語対応も検討中である。住民の防災に関する意識向上にも取り組んで行く。
- ・防災情報受信機の整備と避難支援体制を継続していく。自主防災組織と行政との連携による防災教育を行っていく。
- ・香川防災GISにより、災害種別に応じた避難場所の提供を行っている。いかに、確実に情報を伝えていくかという事に取り組んでいきたい。概ね5年で実施する取組について確実に取り組んで行く予定である。
- ・わかりやすい・きめ細かい防災情報と、より早い気象情報の発信に取り組んでいく。
- ・的確な情報の伝え方として、自治会(地域リーダー)からの伝達が有効的である。また、防災訓練は目的をもって実施することが重要である。